

各位

会社名 筑波精工株式会社
 代表者名 代表取締役社長 傅 寶萊
 (コード番号: 6596、TOKYO PRO Market)
 問合せ先 取締役管理部長 松坂 一生
 TEL 0285-55-0081
 URL <https://tsukubaseiko.co.jp/>

通期の業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年5月14日に公表しました2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の通期業績予想につきまして以下のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

業績予想の修正について

1. 2022年3月期通期業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

(百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益 (損失△)	経常利益 (損失△)	当期純利益 (損失△)	1株当たり 当期純利益 (損失△)
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	468	△11	△13	△40	△10.87
今回修正予想(B)	223	△73	△73	△112	△30.17
増減額(B-A)	△245	△61	△60	△71	
増減率(%)	△52.4	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	195	△90	△86	△108	△29.25

2. 修正の理由

通期業績予想に関しましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う営業活動の制限による影響や、特に2021年晩秋より製品を構成する重要部材調達の滞り(特にSupporter着脱用の自動機・半自動機に使用する電子部品を中心とした納期遅延)が頻発した事により、顧客に発注先延ばし依頼をするなど、受注活動に支障をきたしております。また、この結果、自動機・半自動機とセットで受注活動を行う Supporter の販売にも影響を与え、結果として第3第四半期と第4四半期に予定した大口受注が影響を受けました。

なお、実製造ラインでSupporterの利用を開始している顧客向けの対策としては、顧客向けデモ機(半自動機)の貸与により顧客生産活動に与える影響を最小限に止める等の対策を実施しております。

また、Supporter への引合い増加による半自動機へのニーズが急激に増加している中、今期中に半自動機向け部材調達が完全復旧する可能性は低いとの前提に立ち半自動機製造に必要な各種部材の優先調達と、デモ機の備蓄などの営業投資を積極的に進めていることから、各個別案件の収益率向上や販売管理費等の削減を進めてはおりますものの、前回発表数値からは売上収益、各利益ともに大きく減少する見通しです。

(注)業績の予想に関する注意事項

上記の予想数値は現時点で得られた情報に基づいて判断したものであり、実際の業績はさまざまな要因により当該予想と異なる可能性があります。

以上